

天然の良港 『西九州港（仮称）』（唐津港伊万里港）

～日本海側拠点港の選定でアジア新時代を～

唐津港区



伊万里港区



唐津港・伊万里港の統合港湾「西九州港（仮称）」誕生

統合港湾（西九州港（仮称））



『国際海上コンテナ』機能

天然の良港『西九州港（仮称）』

～日本海側拠点港の選定でアジア新時代を～

東アジアの経済成長を西九州のダイレクト拠点港へ

□ 目的 東アジアとのダイレクト航路を充実させ、西九州域における拠点港とし、
地域産業の発展に繋げる。

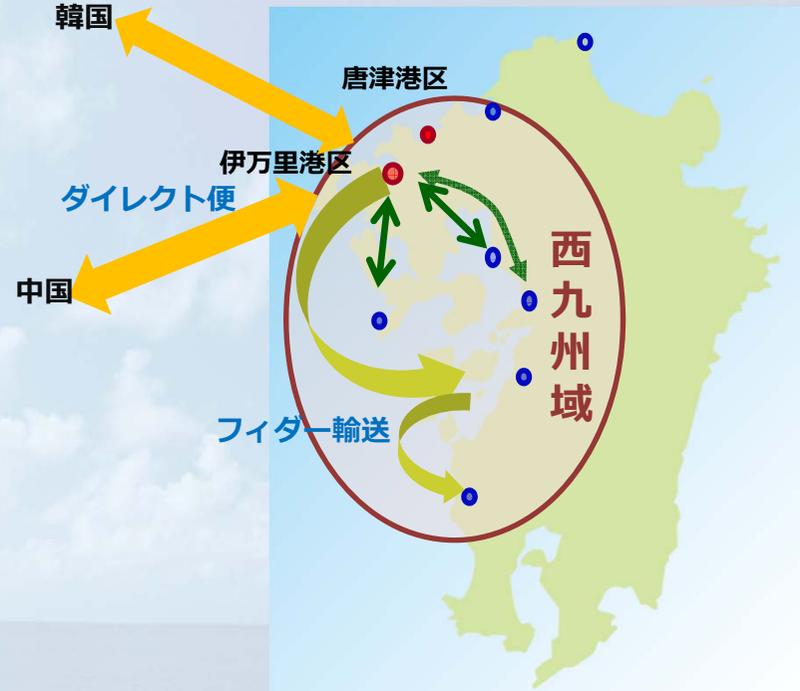
◎ 北部九州はアジアとのゲートウェイ

（日本海側港湾のコンテナ取扱量のうち、北部九州の港湾の取扱量が約7割を占める）

西九州港は日本海側対象17港中6位(コンテナ)、
定期航路5航路週5便



- 航路の拡充《2025年》5航路週7便
- 西九州域の拠点港



西九州港～優位性と役割～

天然の良港『西九州港（仮称）』

～日本海側拠点港の選定でアジア新時代を～

◎西九州港の優位性

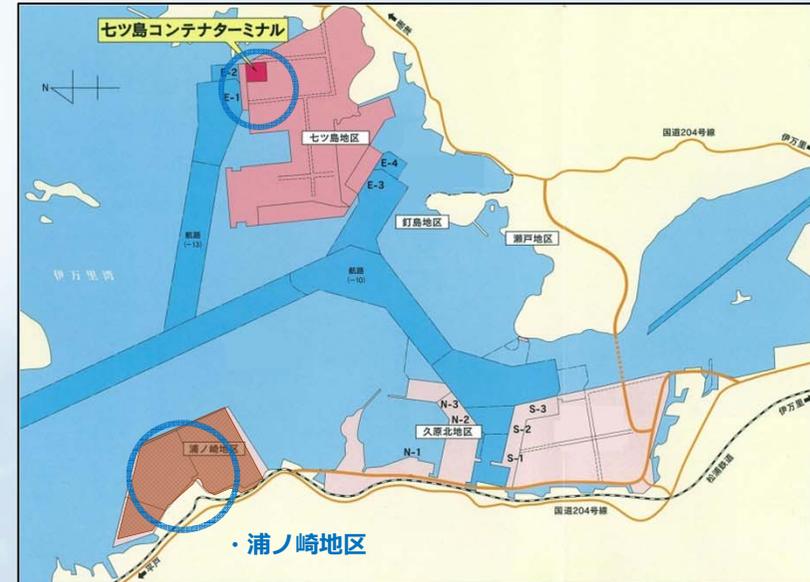
- 地震の発生確率が最も低いレベル。他港に比べ安全な港（震度6以上大規模地震の発生確率0.1%以下）
- 安い港湾施設使用料・工業団地価格

	西九州港	大規模都市港湾（H港）
野積場使用料	2.7（円/㎡・日）	5.5（円/㎡・日）
工業団地価格	16,300（円/㎡）	132,600（円/㎡）

- 天然の良港（開発が低コスト）
 - ・静穏で大水深（-13~-18m）
 - ・浦ノ崎地区に開発可能地

◎西九州港の役割（博多港との連携）

- 西九州港は西九州域の貨物を担う
伊万里港区のコンテナ貨物は七ツ島地区で扱う
- 土地使用料が安いことなどを活かし、大型の貨物、長期保管等が必要な貨物は西九州港で受け持つ（家具、魚粉、船用品等）
- 災害発生時等の補完・支援



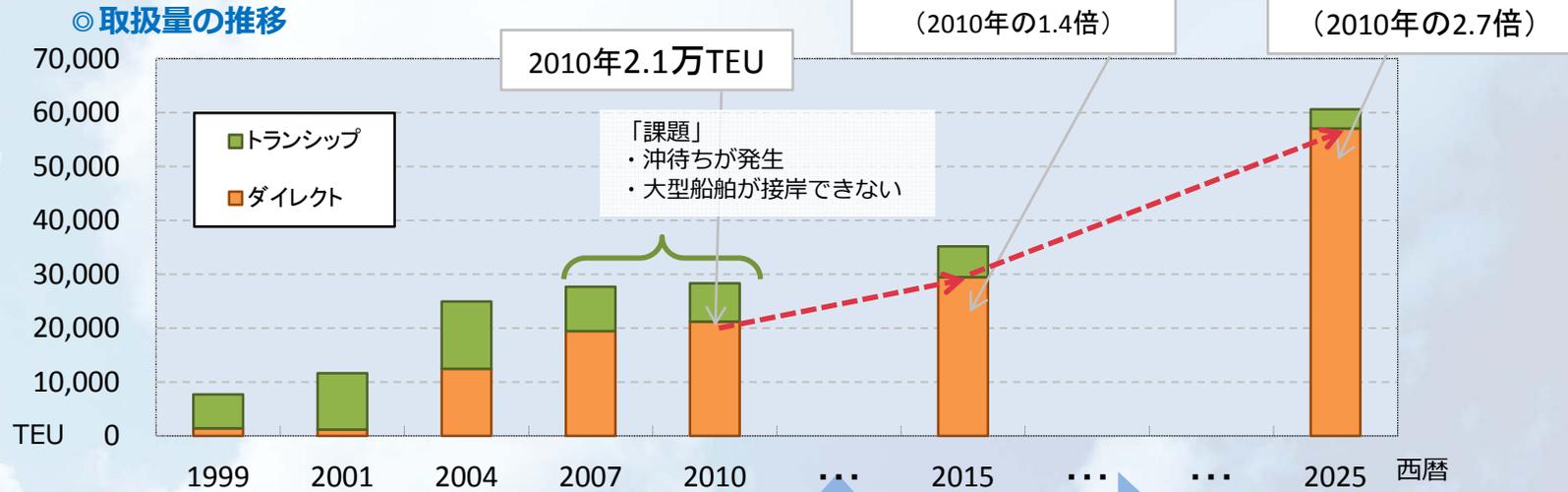
浦ノ崎地区「開発中（約80ha）」



- ・静穏な水域、大水深（-13~-18m）
- ・岸壁は既設護岸の改良で対応可能

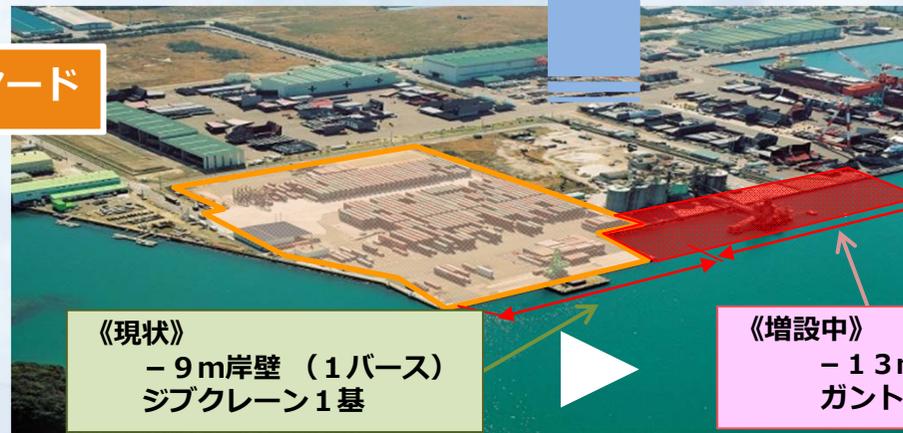
西九州港：国際海上コンテナ港の発展に向けて

目標（ダイレクト航路で扱うコンテナ数）



港湾施設サービスの充実

七ツ島地区コンテナヤード



《現状》
- 9m岸壁（1バース）
ジブクレーン1基

《増設中》
- 13m岸壁（1バース）
ガントリークレーン1基

目標実現のために～輸出の促進と背後圏域の拡大～

◎ 輸出の促進

- 中国・韓国の需要に基づいた集荷促進
【古紙、製材品、電気機器、機械類等】

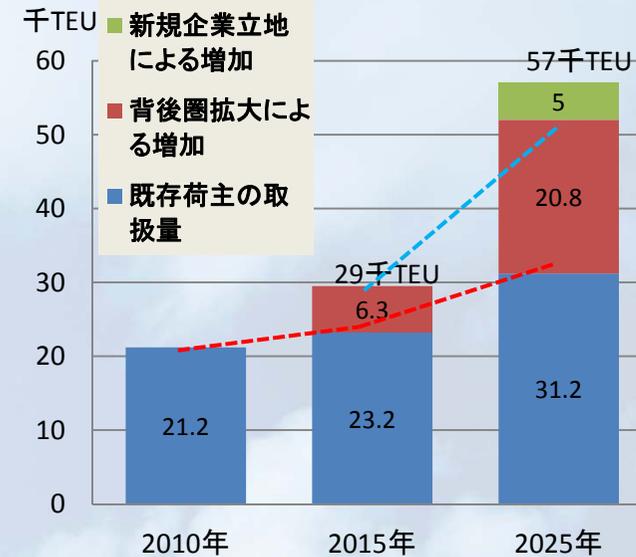
◎ 背後圏の拡大

- 距離・輸送コストで有利な地域を対象とした貨物の掘り起しと拡大
- 他港と差別化を図るための多様なサービス提供
【蔵置期間の延長（家具等）、かさばる貨物対応（稲わら等）等】

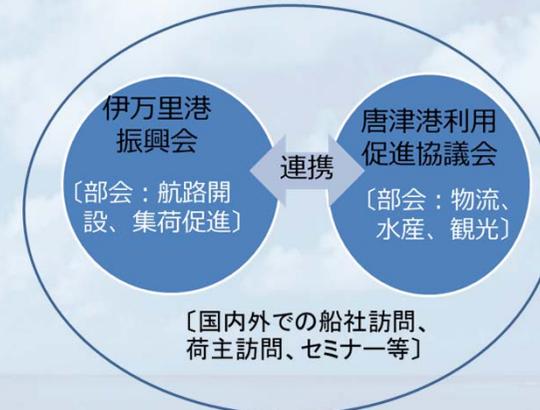
◎ 官民連携による集荷促進

- 官民の強力な連携により集荷増へ
- 伊万里港振興会と唐津港利用促進協議会の連携
・船社への航路開設誘致・荷主へのポートセールスの強化

コンテナ取扱量の将来推計



港利用促進組織の連携



『外航クルーズ（背後地観光）』機能

天然の良港『西九州港（仮称）』

～日本海側拠点港の選定でアジア新時代を～

多彩なニーズに応える観光クルーズ港

唐津は、「唐の津」と呼ばれるように、古くから大陸と人や物など文化の玄関としての役割を担っていた。

現在は、市民参加によるまちづくりとみなとづくりが一体となった取組みを行っており、クルーズ客への「もてなし」に繋がる。



歴史的に大陸との関わりが強い

・中国との関わり

- ★徐福
- ★孔子
- ★鑑真

・韓国との関わり

- ★李參平
- ★武寧王
- ★名護屋城跡

人道橋の設置



提供:唐津市

内航クルーズ船 寄港・出港時のイベント



提供:唐津市

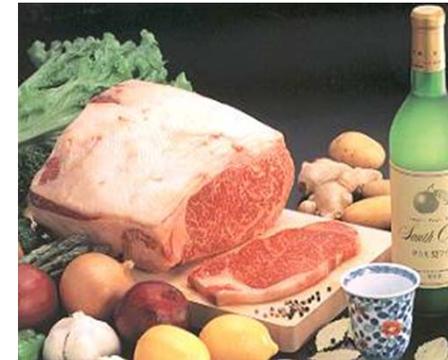
外航クルーズ港の発展に向けて

唐津港区寄港で、博多・長崎背後圏カバー ➡ 広がる選択肢

北部九州のツアーエリア

佐賀県内観光地+福岡、長崎ツアー
で多彩なツアー提供

唐津港区を中心
とした1時間圏内



推進体制と行動計画

寄港目標14回/年

外航クルーズ船の寄港

2012年麗水市(韓国)国際博覧会期間中
「ビートル」就航予定

寄港きっかけ

内航クルーズ船の寄港

過去12年間で21回・・・平均1.8≒2回/年

・多彩なツアーの
選択肢が広がる

・景観に優れた
東港地区岸壁
でのもてなし

寄港
2012年
14回以上

推進体制

西九州港クルーズ振興協議会(仮称)

